

# よしかわICT教育通信

発行：R3.9 吉川市教育委員会 ☎984-3564（学校教育課）

Vol. 4

## ◆ステップアップの2学期へ

1学期は各学校で端末を使う機会が大幅に増えてきたことを前号でお知らせしました。

“使うこと”が習慣化する環境づくり（ステップ0）から始まった今年度も後期を迎え、2学期では“すぐにでも”“どの教科でも”“誰でも”活かせる1人1台端末の活用（ステップ1）への移行を目指していきます。

### 2学期に向けた準備

教育委員会では学校と連携し、教師用タブレット端末の入れ替え作業や、転入生のアカウント作成、アプリの設定等の作業に加え、ICTを利活用した授業の指導案・事例集も作成を始め、2学期に向けて準備をしてきました。

### 情報モラル・リテラシー研修

ICT教育の推進にあたり、情報モラル・リテラシー教育にも力を入れており、今年度は、教職員への情報モラル・リテラシー研修を必須項目として、全小中学校で研修を実施しています。

インターネットは便利な反面、様々なリスクがあることも事実です。次頁を読み、この機会に親子で情報モラル・リテラシーについて考えてみませんか？

#### 情報モラル

情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度

#### 情報リテラシー

情報技術を使いこなす力、情報を読み解き活用する能力

「1人1台端末・高速通信環境」を活かした学びの変容イメージ  
(吉川市学校教育情報化推進計画 第3版より)



Cyoshikawa

#### ステップ3

教科の学びをつなぐ。  
社会課題等の解決や  
一人一人の夢の実現に活かす。

#### ステップ2

教科の学びを深める。  
教科の学びの本質に迫る。

#### ステップ1

“すぐにでも”“どの教科でも”  
“誰でも”活かせる1人1台端末

#### ステップ0

“使うこと”が習慣化する環境づくり



情報モラル・リテラシーの研修風景

# ◆教えて！大西先生

今号は市内の教職員や児童生徒に向けて、ICT の有効な使い方や、情報モラル・リテラシーの研修を行っている教育指導支援員の大西久雄先生に伺ったお話をご紹介します。



## ■教育指導支援員 おおにしひさお 大西久雄 先生

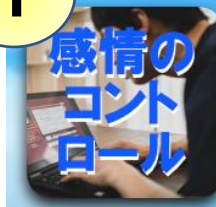
県内中学校教諭として着任。以降、県内中学校教頭、校長、埼玉県総合教育センター指導主事、越谷市教育委員会教育センター所長など要職を歴任。越谷市立方中学校 校長、沖縄アミークスインターナショナルスクール学園長兼中学校長を経て、令和3年4月より現職。

学校在籍時には、(財)コンピュータ教育開発センター主催 ICT 夢コンテスト 文部科学大臣賞受賞。個人では平成31年度埼玉県教育功労賞など受賞多数。

## Q インターネットで気を付けるべきポイントを教えてください。

3つのポイントを紹介します。これらを心がけてトラブル等から身を守り、楽しく ICT を使いましょう。さあ皆さんも ICT の“真の使い手”になっていきましょう！

1



・すぐ返さない

・その後の予測

・人はそれぞれ

★相手にカッとなったなら、すぐに返事をせず6秒待つと良いですよ。

★皆さんの投稿は世界中の色々な人が見ており、それぞれの受け止め方をするということを頭に入れておきましょう。

★1度投稿やアップロードすると、知らないうちに拡散されたり、誰かにダウンロードやコピーをされたりされて、完全には取り消すことはできないので、良く考えて投稿しましょう。

2



・リアルと同じ

・他の権利尊重

・人はそれぞれ

★誹謗中傷など、現実世界とネット上で、“やってはいけないこと”は基本的に一緒です。

★個人や企業が作った著作物等を無断で使うこともやめましょう。

★画像検索でフリー素材と出てきたものも、きちんと掲載元のページで利用できる範囲等を確認しましょう。

★他人の顔を勝手にネット上に掲載することもやってはいけません。

3



・疑ってかかる

・焦らず再確認

・知識情報収集

★残念ながらネット上には間違った情報や、人をだますような情報があり、すぐに信じて拡散したりしないよう気をつけましょう。

★これは本当かな？と疑ってかかったり、複数の情報源から事実を確認したりするなど、焦らずに本当の情報を得られるようにしましょう。

よしかわ ICT 教育通信では、4コマ漫画などで情報モラル・リテラシー等について呼びかけています。市のホームページでバックナンバーを見ることができるので是非、親子でお読みください！

# I C T 術

いつも ちゃんと つかおう

# 術

第4回  
インターネット  
のしくみも  
話題にしてみよう

## 見えない、知らない 人とつながっている

インターネットを活用すれば、世界中の様々な情報にアクセスでき、多くの人と共有をすることができます。便利な世の中となっています。

さらに、居ながらにして世界中の人とつながることもでき、コミュニケーションも取れるので、多くの人々が活用しています。

そのような中に自分も入っているのだという自覚は、普段なかなか持てないものです。ときには、その点にも目を向け、親子で話題にしてみることも大切です。



SNSは公開の設定にも  
気をつけたいところです。

## 話し 合い



パソコン、スマホ等で活用していますが、インターネットは人同士がつながっているわけです。

自分がつながっている友達は、自分が知らない別の人とつながっているのです。さらにその人は、別の人とつながっています。6人介すると世界中の人とつながれるという理論もあるくらいです。

常に知らない人とつながっているという意識を持ってインターネットを捉えて、そのためには何に気をつけたらいいか、どんな使い方が大事か、話し合ってみましょう。